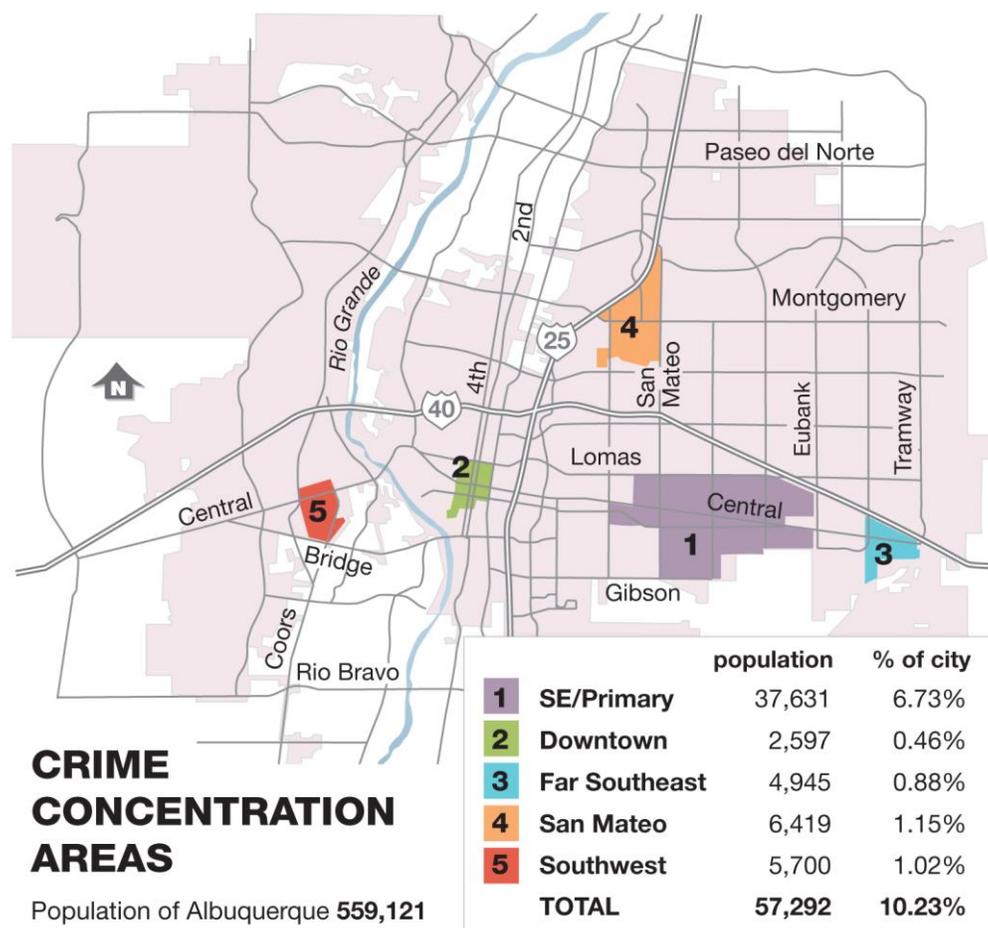


アルバカーキー市自治体及び営利・非営利団体や公的機関から成るイノベーション・チーム（ABQi-team）が2014年から2016年の3年間に同市内で発生した犯罪を集計・分析し、以下の5地区では暴力犯罪の発生率が極めて高いと報告しています。

1. 南東地区（Southeast/Primary）
2. ダウンタウン地区（Downtown）
3. 極南東地区（Far Southeast）
4. サン・マテオ地区（San Mateo）
5. 南西地区（Southwest）



SOURCE: City of Albuquerque

C. CUNNINGHAM/JOURNAL

5地区の合計人口は同市総人口の10%ほどですが、殺人事件は市全体の43.6%、強盗は36.2%、負傷を伴う銃撃事件は約50%発生しています。

特に、南東地区は同チームから主要（Primary）区と呼ばれ、人口では7%に及ばない中、殺人事件は全体の27%、カージャックは19.7%、銃撃事件（非致死）は37.3%となっています。

対物犯罪は同市内において全域的に発生していますが、同犯罪においても5区域は他区域に比べ多く発生しています。